

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

英語科「英語コミュニケーションⅠ（１年普通科特進選抜コース）」	単位数	4単位	学科	普通科
	学年	1年	組	F組

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	1. 様々な英語の文章・音声に触れる中で、語彙力増強・文構造の把握・適切な読解スキルを身につける。 2. 授業で学んだこと・知識を活用し、「書く」力を身に付ける。 3. 易しい英語を聞き取る力を身に付ける。
-------	--

育成する資質能力	「向上心」・「思考力」・「判断力」・「表現力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」 「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
評価の 内容	語彙、文法の知識を身につけ、正しく読解することができるか。	・習得した語彙、文法を用いて、与えられた日本語を平明な英語に訳することができるか。 ・易しい英語を聞き取ることができるか。	・授業に能動的に取り組んでいるか。 ・出された課題にしっかりと取り組んでいるか。
評価 方法	・定期考査90% ・全校一斉英単語テスト10%	・定期考査50% ・授業内テスト50%	・課題50% ・授業態度50%
配分	約50%	約40%	約10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、 他教科との関連など）
第 1 学 期	Lesson 1 Intercultural Relationships	Lesson1 ・本文を読み、概要を理解します。 ・英語の5文型、受動態、to不定詞を用いた文の構造を理解します。	中間考査 期末考査 全校一斉英単語テスト 授業を聞いているだけでは成長はありません。授業以外に演習を行う時間（家庭学習）を充実させましょう。
	Lesson 2 Love beyond Species	Lesson2 ・本文を読み、概要を理解します。 ・現在完了形／現在完了進行形、分詞の用法を用いた文の構造を理解します。	
	Lesson 3 Contributing to Our Planet	Lesson3 ・本文を読み、概要を理解します。	

		・関係代名詞，使役動詞を用いた文の構造を理解します。	
第2学期	Lesson 4 Messages for World Peace Lesson 5 Respecting Each Other Lesson 6 Language and Culture	Lesson4 ・本文を読み，登場人物の心情を理解します。 ・過去完了形，知覚動詞を用いた文の構造を理解します。 Lesson5 〈聞くこと〉 ・本文を読み，登場人物の心情をおさえ，概要を理解します。 ・関係代名詞の what，関係副詞を用いた文の構造を理解します。 Lesson6 ・本文を読み，概要を理解します。 ・関係代名詞の非限定用法，分詞構文を用いた文の構造を理解します。	中間考査 期末考査 全校一斉英単語テスト 授業を聞いているだけでは成長はありません。授業以外に演習を行う時間（家庭学習）を充実させましょう。
第3学期	Lesson 7 Technology and Discoveries Lesson 8 Standing Up for Human Rights	Lesson7 ・本文を読み，概要を理解します。 ・形式主語の it，be 動詞の補語になる that 節を用いた文の構造を理解します。 Lesson8 ・本文を読み，登場人物の心情をおさえ，概要を理解します。 ・仮定法過去／仮定法過去完了，過去完了進行形を用いた文の構造を理解します。	学年末考査 全校一斉英単語テスト 授業を聞いているだけでは成長はありません。授業以外に演習を行う時間（家庭学習）を充実させましょう。

使用教科書	啓林館『ELEMENT English Communication I』
副教材	・啓林館『ELEMENT English Communication I ワークブック（スタンダード）』 ・数研出版『Take Pleasure + CD』 ・駿台文庫『システム英単語 For Starters』 ・駿台文庫『システム英単語 + CD』 ・数研出版『チャート式基礎からの新々総合英語』 ・リクルート『スタディサプリ ENGLISH』

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・予習・授業・復習のサイクルをしっかりと確立させましょう。3つのステップを1つ1つ確実に踏むことが定着のカギになります。 ・反復練習を根気強く何度も行いましょう。英語という言語の習得には「読む」，「書く」，「聞く」，「話す」といろいろな形で触れることが不可欠です（オモテニ技能を習得する上でも「聞く」と「話す」の訓練は不可欠です）。
---------------------	---

	・教科書を使った勉強だけにとらわれず、様々なことに興味・関心を持ち、日頃から広くアンテナを張って下さい。「知りたい」、「理解したい」、「できるようにになりたい」という気持ちを大切にしてほしいと思います。 ・「英語ができればそれでよい」だとか「点数が取れればそれでよい」…なんてつまらない考え方なんですよ！！
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・予習をした状態で授業を受けて下さい。ただ機械的に座って授業を「聞く」のではなく、予習をして疑問に思ったところや分からないところ、関心を持ったことを「聴く」姿勢で授業に臨んでください。もちろん積極的な質問は大歓迎です。 ・辞書を必ず持参して下さい。できれば紙の辞書がベターです。また、授業で必ず使う教材も毎回忘れずに準備をしてきましょう。 ・私語・居眠り・周囲の人に迷惑をかけることは当然認められません。授業は生徒だけのものでも教員だけのものでもありませんから、お互いに学びのある授業にしましょう。
その他のアドバイス	「英語を学ぶ」ことだけに重きを置くのではなく、「英語から学ぶ」ことも増やしてください。もちろんそこでは英語以外の教科（理科や社会）の知識が必要になる場合があります。教科を横断したダイナミックな学習ができるのが英語の「楽しさ」の1つです。1年間の授業を通してその「楽しさ」を存分に味わってほしいと思っています。教科書にある単語をただ追いかけるのではなく、内容に触れ、社会問題について考えたりと、一步踏み込んだ学習をしていきます。尚、物事には順序というものがあります。四技能が大切であることは間違いありませんが、いきなり全てを向上させようとしてもそれは無理。当面は、「四技能以前」のことをしっかりやり、まずは「オモテ二技能」をしっかり伸ばしましょう。最後に…シラバス通りに進むかはわかりません。本質を理解するには脇道にそれること（さらには脇道の脇道にそれること）が大切だからです。